



ジョン・トムソン『ストリート・ライフ・イン・ロンドン』より 1877-78年



ウジェーヌ・アジェ『金の十字架 サン=タンドレ=デ=ザール街54番地』1900年9月



アウグスト・ザンダー『若い農夫たち』1914年



ブラッサイ『ベイ・ブイエールの人混み、モンパルナス』1932年



ビル・ブラント『イースト・エンド』1937年



ハインリッヒ・ツイレ『荷車一杯の木を運ぶ2人の女』1898年秋

表図版：
トーマス・アナン『グラスゴウの古い小路と街路』より 1868-77年

- トーマス・アナン(英、1829-1887)
再開発で壊される前の都市グラスゴウの景観を記録した。
- ジョン・トムソン(英、1837-1921)
ロンドンの暮らしを撮影し、社会改良のドキュメンタリーの先駆けとなる。
- ビル・ブラント(英、1904-1983)
1930年代、イギリス人の社会生活を記録した。
- ウジェーヌ・アジェ(仏、1857-1927)
消えゆくパリの街並みや人々の暮らしを撮影した近代写真の先駆者。
- ブラッサイ(仏、1899-1984)
マグネシウム・フラッシュを使ってパリの闇を捉えた。
- ハインリッヒ・ツイレ(独、1858-1929)
社会の弱者たちに注ぐ優しい視線でベルリンを記録した。
- アウグスト・ザンダー(独、1876-1964)
あらゆる階級やあらゆる職業のドイツ人を記録した。

本展では、イギリス、フランス、ドイツで活躍した7人の写真家を取り上げ、19世紀後半から20世紀前半に展開したヨーロッパのソーシヤル・ドキュメンタリー写真に焦点をあてます。

近代化によって急速な変化を遂げてゆく都市の街角や生活風景を記録した写真群には、失われようとする歴史を現在のものとして生き生きととらえようとする想像力ゆたかなまなざしが見てとれます。

トーマス・アナン、ジョン・トムソン、ビル・ブラント、ウジェーヌ・アジェ、ブラッサイ、ハインリッヒ・ツイレ、アウグスト・サンダーという7人の写真家の作品で、そこに貫かれる記録精神をたどります。

平成23年度収蔵展

ヨーロッパを見つめた7人の写真家たち

ストリート・ライフ

Street Life: Chronicles of Europe by Seven Photographers

2011.12.10[土] - 2012.1.29[日] 東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099

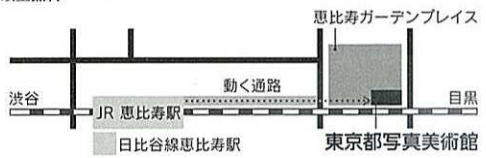
- 開館時間=10:00-18:00(木・金は20:00まで、ただし2012年1月2日・3日は11:00-18:00、入館は閉館の30分前まで)
- 休館日=毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)、12月29日-2012年1月1日、1月4日
- 主催=東京都 東京都写真美術館 ●観覧料=一般600(480)円/学生500(400)円/中高生・65歳以上400(320)円
- ※()は20名以上の団体料金 ※東京都写真美術館友の会会員、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

www.syabi.com

■担当学芸員によるフロア・レクチャー
会期中の第2,4金曜日午後4時より、担当学芸員による展示解説を行います。*本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入口にお集まりください。

■展覧会図録
『ストリート・ライフ-ヨーロッパを見つめた7人の写真家たち』美術出版社刊 定価2,310円(税込) 2011年12月10日(土)より発売

○JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分 ○お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。





High Street from College Open
1868.